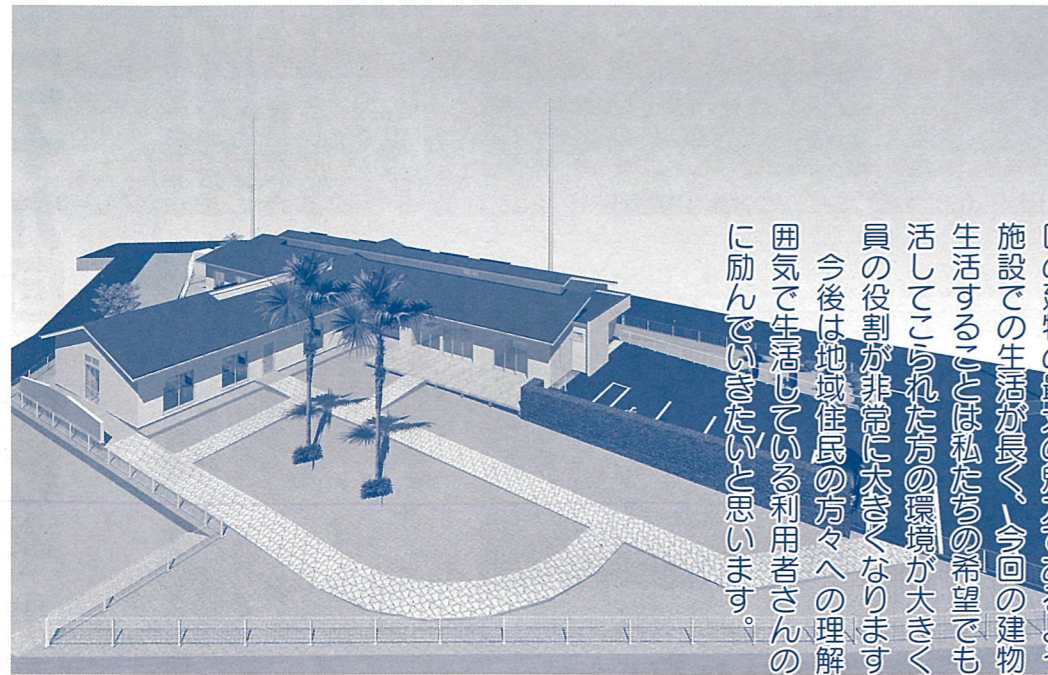
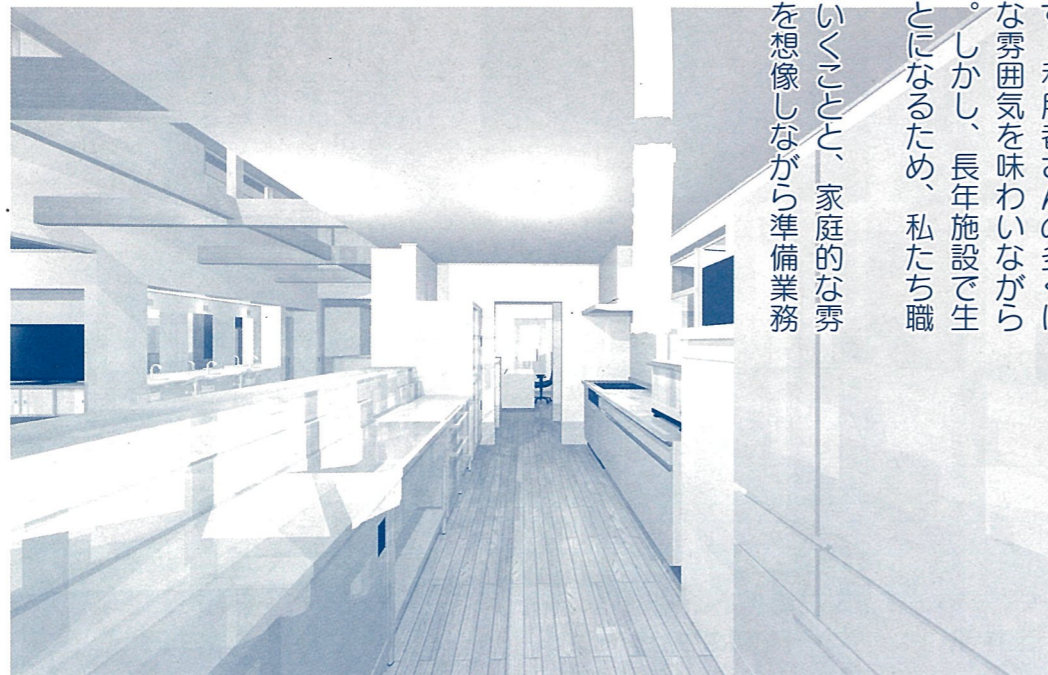


令和4年度 日中活動支援型グループホームオープン



施設外観



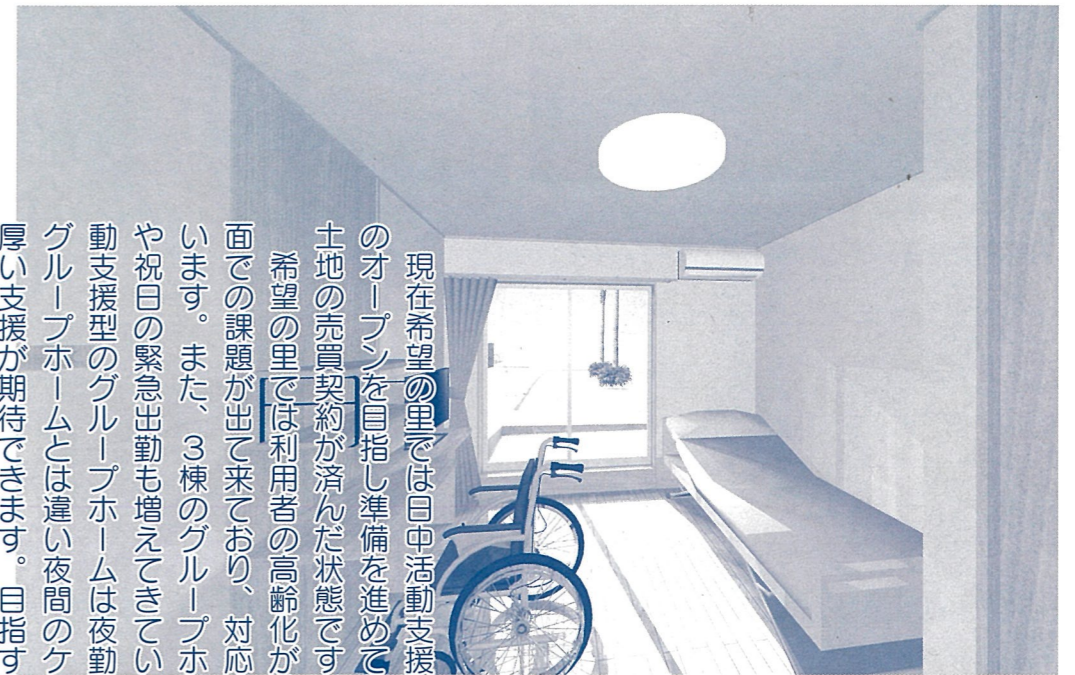
キッチン

今後は地域住民の方々への理解を深めていくことと、家庭的な雰囲気与生活している利用者さんの将来の姿を想像しながら準備業務に励んでいきたいと思っております。

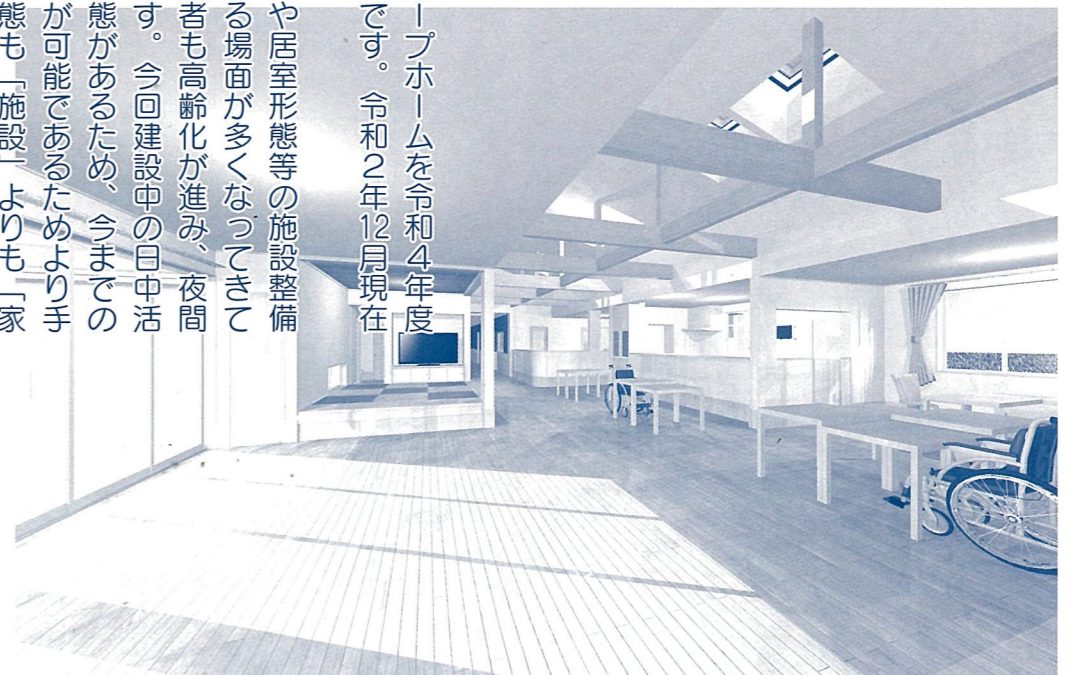
今回の建物は車椅子や現在の施設で整備面での対応が困難な利用者さんが対象です。私が現在の施設で働き始めた頃のグループホームへの地域移行とはまったく違う形での地域移行であり、それが今回の建物の最大の魅力であるように感じます。利用者さんの多くは施設での生活が長く、今回の建物で家庭的な雰囲気を感じながら生活することは私たちの希望でもあります。しかし、長年施設で生活してこられた方の環境が大きく変わることになるため、私たち職員が非常に大きくなります。

日中活動支援型のグループホームは県下でも実例が少なく参考となる施設も少ない為、設計段階では難しい面が多々ありましたが、数少ない実例施設への施設見学や介護保険での類似施設への施設見学を重ねて情報の収集に努めました。施設入所利用者を担当することが多かった私にとって、設計段階等で考えることはどうしても施設的な考え方になりがちであり、施設長をはじめとする準備委員の中で軌道修正を図る場面が多々ありました。

現在希望の里では日中活動支援型のグループホームを令和4年度のオープンを目指し準備を進めている最中です。令和2年12月現在土地の売買契約が済んだ状態です。希望の里では利用者の高齢化が進み入浴や居室形態等の施設整備面での課題が出て来ており、対応に苦慮する場面が多くなっています。また、3棟のグループホーム入居者も高齢化が進み、夜間や祝日の緊急出勤も増えてきている状況です。今回建設中の日中活動支援型のグループホームは夜勤の勤務形態があるため、今までのグループホームとは違い夜間のケアも対応が可能であるためより手厚い支援が期待できます。目指す建物の形態も「施設」よりも「家庭」をイメージしており、それに沿った建物のつくりを目標としています。



居室



リビング

※写真はイメージです。